

R5 保護者アンケートの結果

1=あてはまらない 2=あまりあてはまらない 3=ややあてはまる 4=よくあてはまる

R5. 12月

	項目	4	3	2	1	【平均】
1	学校教育目標を知っていますか。	6	18	4	0	3.1
2	学校は、子どもたちに楽しく、分かりやすい指導をしていると思いますか。	12	15	1	0	3.4
3	お子さんは、家庭での学習に進んで取り組み、学習習慣が定着していますか。	7	15	6	0	3.0
4	お子さんは、家庭で進んで読書をしていますか。	5	10	10	3	2.6
5	ご家庭では、基本的な学習習慣や生活習慣が身につくように言葉かけをしていますか。	9	17	2	0	3.3
6	学校は、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むための取り組みをしていると思いますか。	16	12	0	0	3.6
7	ご家庭では、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むための取り組みをしていると思いますか。	13	15	0	0	3.5
8	学校は、いじめ防止(なかよしアンケートの実施、児童との面談など)の対策を行い、いじめが起きた場合は、迅速に対応していますか。	12	13	3	0	3.3
9	お子さんは、毎日楽しく学校に登校していると思いますか。	20	7	1	0	3.7
10	ご家庭では、お子さんの話を聞いたり、一緒に活動をしたりするなど、ふれあいの時間をもたれていますか。	17	10	1	0	3.6
11	学校は、地域や社会の様々な人と一緒に体験する活動を仕組んでいると思いますか。	19	8	1	0	3.6
12	ご家庭では、外遊びを奨励したり、一緒に運動をしたりされていますか。	10	12	5	1	3.1
13	お子さんは、家でも食後の歯みがきをしていますか。	9	15	4	0	3.2
14	お子さんは、毎日「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。	8	18	2	0	3.2
15	学校は、児童の安全指導(交通安全や火災・地震・不審者対応など)を定期的に行っていますが、ご家庭でも緊急時の対応についての話をされていますか。	4	17	7	0	2.9
16	学校便りや授業参観等でお子さんの学校での様子や授業の様子を知ることができましたか。	13	14	0	1	3.4
17	小学校と中学校が連携して活動していることを知っていますか。	14	12	2	0	3.4
18	お子さんのことで困ったことがあった時には、気軽に学校に相談できますか。	13	12	3	0	3.4

・18項目中、2項目(6学校は、7家庭は「礼儀・思いやり・感謝の心を育む」)は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的な回答をされた方が100%であった。また、6「学校での礼儀等の指導」や9「楽しい学校生活」、10「家庭でのふれあい」、11「地域や社会の人と体験」は、平均3.6～3.7ポイントと評価が高く、各家庭で子どもたちとのふれあい、地域交流を大切にされていることが分かる。

・一方、1「学校教育目標」や3「家庭学習の定着」、4「家庭での読書」、12「外遊び」、15「家庭での安全指導」については、前回の結果同様、評価ポイントは低く、引き続き、家庭と学校で連携しながら子どもたちの支援にあたっていく必要がある。

・特に、4「家庭での読書」は、平均2.6ポイントで全項目中、評価が一番低かった。学校では「読書タイム」や「図書館まつり」の取組で、本と向き合う機会を計画的・積極的に設定している。「家庭でのふれあい」の評価ポイントが高いことを生かし、各家庭でも子どもが借りてきた本の内容について話題にしたり、1冊の本を家族全員で読み合ったりするなど、アイデアを学校と話し合っていくことも効果的だと考える。

・また、児童の「防止意識」は高まってきているので、15「家庭での安全指導」についても、家庭の中で話題にしていきたい。

R5 児童アンケートの結果

1=あてはまらない 2=あまりあてはまらない 3=ややあてはまる 4=よくあてはまる

R5.12月

	項目	4	3	2	1	【平均】
1	せんせい 先生は、がっこう 学校のべんきょう 勉強をわ 分かりやすくおし 教えてくれますか。	26	4	1	0	3.8
2	じゆぎょうちゆう 授業中は、しゆうちゆう 集中してがくしゅう 学習にとく 取り組んでいますか。	22	8	1	0	3.7
3	かてい 家庭でのがくしゅう 学習にすす 進んでとく 取り組んでいますか。	16	13	2	0	3.5
4	すす 進んでどくしょ 読書にとく 取り組んでいますか。	19	6	5	1	3.4
5	がくしゅうようぐ 学習用具をわすれずにがっこう 学校へも 持ってきていますか。	20	10	1	0	3.6
6	だれ 誰にでもあいさつ やへんじ 返事をする事ができていますか。	27	4	0	0	3.9
7	「ありがとう」や「ごめんなさい」をい 言う事ができていますか。	29	2	0	0	3.9
8	どけい 時計を見て、み 考えてかんが 行動していますか。	14	15	2	0	3.4
9	ろうかはしず 静かにみぎがわ 右側をある 歩く事ができていますか。	20	10	0	1	3.6
10	むごん 無言で、じかん 時間いっぱいそうじ 掃除をする事ができていますか。	21	10	0	0	3.7
11	とも 友だちとなかよくたす 助け合っ、あ 楽しくたの 生活する事ができていますか。	27	4	0	0	3.9
12	こま 困ったときは、とき 先生・せんせい 家族・か 友だちなどにそうだん 相談する事ができますか。	20	8	2	1	3.5
13	そと 外でげんき 元気にあそ 遊んだり、すす 進んで「げんきタイム」にとく 取り組んだりしていますか。	22	6	3	0	3.6
14	まいち 毎日「はや 早ね・はや 早おき・あさ 朝ごはん」ができていますか。	19	11	1	0	3.6
15	がっこう 学校やいえ 家で、いへい には 歯みがきをしていますか	25	6	0	0	3.8
16	ハンカチ、ティッシュ、マスクをわすれずにがっこう 学校へも 持ってきていますか。	26	3	1	1	3.7
17	さいがい 災害(じしん 地震・かじ 火事・おおあめ 大雨など)のとき、み 身をまも 守る行動ができていますか。	26	5	0	0	3.8
18	こうつう 交通事故やけがにきをつけて、あんぜん 安全なせい 生活ができていますか。	30	1	0	0	4.0
19	ちゅうがっこう 中学校のせんせい 先生やちゅうがくせい 中学生といっしょにかつどう 活動することはすきですか。	23	5	2	1	3.6
20	ちいき 地域の人ひと とふれあうかつどう 活動は、たの 楽しいですか。	23	3	5	0	3.6

・20項目中7項目は、100%の児童が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と答えている。その中でも、6「挨拶や返事」や7「ありがとう、ごめんなさいが言える」、11「友達と仲良く助け合う」、18「交通事故やけがに気をつけて、安全な生活」については3.9~4.0と特に高く、安全かつ安心な学校生活について、教師が児童に指導し、児童の意識が高いことが伺える。

・15「丁寧な歯磨き」、17「災害時の身を守る行動」も100%の児童が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と答えており、それぞれ3.8とポイントも高い。歯磨きについては、家庭での声掛け・協力を因るところも大きい。しかし、災害対策については、保護者の評価は低かった。児童が学校で実施した避難訓練等について、各家庭で話題にしていただけだと、地域ぐるみで防災対策への意識が高まっていくと考える。

・3「家庭学習」や5「学習用具の準備」、14「早寝・早起き・朝ごはん」は、1回目と比較すると急激にポイントが高くなっており、家庭での指導・支援のおかげである。

・一方、4「進んで読書」、8「時計を見ての行動」については、前回の結果からの変化が乏しく、読書週間を計画的・継続的に設定するなど改善策を検討していく必要がある。

R5 職員アンケートの結果

1=あてはまらない 2=あまりあてはまらない 3=ややあてはまる 4=よくあてはまる

R5.12月

項目		4	3	2	1	【平均】
1	学校教育目標や学校経営方針を学級経営に反映している。	8	2	0	0	3.8
2	教材研究を十分に行い、今年度の研究内容を意識した授業に取り組んでいる。	7	3	0	0	3.7
3	進んで学ぶ児童の育成を行うことができている。	5	5	0	0	3.5
4	教育活動全体を通じて、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むようにしている。	9	1	0	0	3.9
5	学校のきまりや月のめあてが徹底するよう指導を行っている。	8	2	0	0	3.8
6	日常の観察や聞き取り調査、定期的な「なかよしアンケート」の結果をもとに、いじめの未然防止に努めている。	9	1	0	0	3.9
7	他の職員と連携しながら、児童や保護者への生活指導や対応等を行っている。	9	1	0	0	3.9
8	地域や社会の様々な人と出会う機会を作り、人の生き方にふれる活動を仕組んでいる。	6	3	1	0	3.5
9	外遊びを奨励したり意欲的に「げんきタイム」に取り組めるようにしたりしている。	8	2	0	0	3.8
10	「早寝・早起き・朝ごはん」の指導や計画的な食育指導を行っている。	5	5	0	0	3.5
11	日頃から児童の危機対応能力を高める指導を行っている。	6	4	0	0	3.6
12	勤務時間を意識して仕事に取り組んでいる。	9	1	0	0	3.9
13	学級だよりを発行したり、保護者と連絡を取り合ったりして、児童の学習や生活の様子等の情報を共有している。	6	4	0	0	3.6
14	学習指導において、9年間の学びの連続性を意識して授業を行っている。	5	5	0	0	3.5
15	特別支援教育についての研修を深め、学級の指導にいかしている。	8	2	0	0	3.8

・15項目中14項目において、100%の職員が「ややあてはまる」「よくあてはまる」と肯定的な回答をしている。その中でも、1「学級経営への反映」、4「礼儀・思いやり・感謝」、5「学校のきまりと月のめあて」、6「いじめの未然防止」、7「他の職員と連携した対応」、9「外遊びの推奨」、12「勤務時間」、14「9年間の学び」は、平均3.8～3.9で特にポイントが高く、職員がチームで児童を育む意識が高まっている。

・8「地域連携」と14「9年間の学び」については、3.5と全項目中、評価が一番低かった。小中連携や地域連携をさらに強化、深化し、チーム脊振小から「チーム脊振」としての組織力を高めていきたい。

・12「勤務時間を意識した仕事」については、1回目と比較しても大きく改善されたが、3「児童の主体的な学び」については、教材研究の時間を積極的に確保し、互いの資質・能力を共有できるような場を設定することで改善を図っていきたい。